

北海道大学出版会主催の二つのイベントを終えて

竹中英俊（北海道大学出版会相談役）

11月24日（金）と25日（土）の両日、橘宗吾さん（名古屋大学出版会専務理事・編集部長）をスピーカーとして招いた二つのトークイベントが行われた。24日は、「学術書を書くということ」というタイトルで、北海道大学附属図書館と北海道大学出版会の共催。場所は北大図書館4階。時間は17時から19時半まで。25日は、「編集を語る：学術書の編集者」というタイトルで、北海道大学出版会主催。場所は紀伊國屋書店札幌本店1階インナーガーデン。時間は10時から11時半まで。

24日のイベントは、「学術書を書くということ」とあるように、主にこれから学術書を書こうとしている人々および論文指導をしている大学教員を対象としたもので、25日のイベントは、市中の書店という場所で行うこともあり、主に本好きな読者および出版関係者を対象としたものであった。

幸い、両日ともに、予想を超える参加者を得ることができたし（それぞれ50名弱と40名弱）、またわざわざ東京から駆けつけてきた出版関係者2名もいたことは、特筆大書に値する。

両日の講演とも、橘さんは事前に原稿を用意し、パワーポイントを使い、静かな話し方に熱がこもり、聴衆にうったえるものが大であった。それゆえ、質疑応答も充実し、いずれも時間が足りないくらいであった。特に、25日の紀伊國屋書店でのイベントでは、終了後に希望者を募り、大丸札幌店8階の喫茶店で「読者交流会」を持ち、8人の一般参加者との間で、本をめぐる1時間半の熱い議論で盛り上がった。

なお、24日の司会は櫻井義秀（北大教授、北大出版会理事長）、コメンテーターは竹中英俊（北大出版会相談役、元東大出版会常務理事・編集局長）であり、25日は、竹中がコーディネーターを務めた。